

## 28年3月に富山くすりフェアが開催

発行：日本置き薬協会 事務局

東京駅から北陸新幹線に乗車して約二時間。頸城山地の長大トンネルを抜け、車窓には突然田園地帯が広がる。左に立山連峰、右に日本海の標高差約3,000mを一望する空間を疾走する体験は、日本ではここだけ。新幹線沿線一帯には、製薬メーカーの工場が数多く点在する。

富山県の製薬企業等が加盟する(一社)富山県薬業連合会は平成28年3月4日(金)～6日(日)に「富山クスリフェア」を開催する。場所は東京駅丸の内南口JPタワー・KITTE地下1階「東京シティーアイ パフォーマンスゾーン」(東京中央郵便局地下)。開催時間は午前10時～午後7時(6日は午後6時)。昨年度は27年3月の北陸新幹線開業に合わせ丸の内北口OAZOで開催されたのを、今年度も同じ東京駅丸の内近隣として同駅の利用者やビジネスマンに「富山、薬、配置薬、置き薬」のイメージ喚起と定着を促す企画である。

今回のくすりフェアでは、「紹介コーナー」で従来通り富山のくすりの歴史(柳行李、懸場帳、製薬道具等の展示と映像)、富山の医薬品産業(パネルと映像)、くすりの知識と正しい使い方とセルフメイケーション、富山オリジナルブランド医薬品「パナワン」「エッセン」などの紹介やイメージキャラクター「くすりん」によるPR等を行う他、「体験コーナー」では薬膳カフェ(健康茶)試飲、紙風船等の折り紙による手作り体験、東京シティーアイカフェとのタイアップ企画(薬膳カレー)などが計画されている。

富山県薬業連合会会長の中井敏郎氏(東亜薬品(株)社長)は「単に歴史の紹介だけでなく、提案型の要素を盛り込み、低迷気味な配置薬業をくすりフェアで盛り上げて行きたい」と意欲を語っている。

事業規模は600万円。富山県200万円、関係6市町184.5万、富山薬連215.5万円の分担で、会場設営及び運営費に250万円、PR経費を85万円、会場費65万円としている。

実行委員会は(一社)富山県薬業連合会、(公社)富山県薬剤師会、富山県医薬品卸業協同組合、富山県医薬品小売商業組合、(一社)富山県医薬品登録販売者協会、富山県、富山市、高岡市、射水市、滑川市、上市町、立山町で構成。後援は厚生労働省、富山大学、富山商工会議所、(株)薬日新聞社、(株)家庭薬新聞社。

問い合わせは、富山県薬業連合会(富山市千歳町 TEL076-432-2765)へ。

本件に関するお問合せ先 **日本置き薬協会 事務局**

〒114-0023 東京都北区滝野川3-56-9

TEL. 03-5974-6227 FAX. 03-3917-9081

日 置 協